

「保険でよい歯を」東京連絡会 第17回定期総会  
2009年度「活動のまとめ」と  
2010年度「活動の方針」案

2009年12月12日

はじめに

「保険でよい歯を」東京連絡会は、医療を受ける側と提供する側が、現在の医療制度の矛盾に気づき、「保険でよい入れ歯は国民の権利」「歯科医療従事者の技術と労働の適正評価及び経営と生活の確保」という位置づけで、共に満足できる入れ歯が健康保険で保障できるように1993年10月、「保険でよい入れ歯を」東京連絡会として、制度の改善を目指して結成されました。その後、運動は「入れ歯だけでなく、歯科医療全般の改善運動」へ発展し、2005年12月、第13回定期総会にて「保険でよい歯を」東京連絡会に改名しました。

保険証1枚で、安心して良い歯科医療が受けられるよう、患者も医療提供者も満足できる歯科医療を実現させるために、私たちの運動を進めていきましょう。

## ．1年間の活動について

第16回総会で医療「改革」を阻止する運動と、都民への啓蒙を重視して出前講座の積極的な取り組みなどを意識的にすすめる運動を展開することを決めました。この活動の柱にそって、具体的には次の7項目の活動に取り組むことを決めました。

保険でよい歯科医療の実現のため国会請願署名や自治体請願などに取り組みます。

歯科医療への理解を広める「出前講座」を広めます。

イイ歯デーの街頭宣伝や、学習会を開催し、都民へのアピール活動を積極的に行います。

「食」を通して「噛む」ことの必要性を運動に結びつけます。

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会との連携を強めて運動をすすめます。

運動を広げるため、世話人を増やすよう他団体や都民への呼びかけをすすめます。

ニュースを発行しホームページを充実させます。(http://www.yoiha.org)

これらの柱をふまえ、第16回定期総会以降の主な取り組み状況は次の通りです。

## (1) 第16回定期総会・記念講演

1月17日、第16回定期総会が東京歯科保険医協会・会議室で開催され、世話人をはじめ、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、市民ら26人が参加しました。

総会の討論では、「国会活動や署名運動、全国と連携した活動を行って欲しい。6月頃に集会やシンポジウムを開催して欲しい」との積極的な意見が出された他、北区で「より良い歯科医療の実現を求める」請願が採択されたこと、「保険で良い歯科医療を」全国連絡会の活動についての報告がありました。総会は討論のあと、活動報告と新方針案、活動計画案、「いつでも安心して受けられる歯科医療の実現を」求めるアピールを採択して閉会しました。

総会後の記念講演では、ホームレスの人達の支援活動を続けている中久木康一氏が「ホームレスの現状～歯科のボランティア活動を通じて見えてくること～」をテーマに講演しました。中久木氏は、SHARE（国際保健協力市民の会）や「新宿野宿労働者の生活・就労保障を求める連絡会議」医療班などで、ホームレスや在日外国人向けに歯科相談などのボランティア活動に携わっている。講演の中で、中久木氏は、野宿者の多くが職場を解雇されて寮や飯場から追い出され、ネット・カフェなどを転々としたあとお金が無くなり、ホームレスになっている例が多いこと、そして仕事がないためにホームレス状態が続いていると報告しました。健康面では、低栄養状態で健康を害している人が多く、皮膚病や循環器障害、整形関係の疾病が多いけれども、健康保険証が無く、お金がないために医療機関を受診することができないこと、医師・歯科医師が健康状態を記載した意見書を自治体の窓口に提出して初めて医療券が交付されること、生活保護の申請は野宿者にとっては簡単でなく支援が必要なことなどがリアルに報告されました。

講演の最後に、「歯科相談や炊き出しなど路上支援活動を行っているので興味がある方はぜひ参加してほしい」との訴えがありました。

## (2) 「新宿野宿労働者の生活・就労保障を求める連絡会議」への支援活動

4月12日、「新宿野宿労働者の生活・就労保障を求める連絡会議」医療班の活動に藤野健正世話人と事務局の2名が参加しました。同連絡会議・医療班は医師・歯科医師、看護師、歯科衛生士、鍼灸師などの医療関係者がボランティアとして参加し、毎週日曜日の炊き出し・パトロール、月曜日の福祉活動、毎月1回の医科・歯科医療相談などの活動を行っています。医療相談を受けると、「要治療」と診断されれば、医療意見書が渡されますので、患者はこれを新宿区役所に持って行くと医療券が交付される仕組みです。この日は、400食の炊き出しを行い、医科・歯科それぞれ5人の方に医療意見書が渡されました。しかし、そのうち実際に受診するのは6割程度とみられ、患者が安心して受診できる仕組みや制度をつくることが求められています。

### (3) 「格差社会と歯の健康」シンポジウムを開催

6月7日、東医健保会館で、「格差社会と歯の健康」をテーマにシンポジウムを開き、市民・医療従事者など102名の参加で成功させました。シンポジストには相田潤東北大学大学院助教、赤羽根巖東京保険医協会副会長（赤羽根医院院長）、小玉奈緒子歯科衛生士（健生会相互歯科）、栗原寿子さん（患者）の4名にお願いし、コーディネーターは矢野正明世話人が勤めました。

相田氏は、統計資料を活用して経済格差が健康格差を生んでいる現状について報告し、「住民参加・医療部門と他部門の連携を促す社会の行動変容が必要である」と訴え、赤羽根氏は「慢性疾患患者が診察回数を抑制している」ことや「診療前に窓口負担がどのくらいかかるか心配する人が増えてきた」ことを述べ、医療費抑制政策の実態を告発しました。小玉氏は、豊富な写真で子どもの悲惨な口腔状態を示しながら、健康格差が口腔内に現われていると問題提起し、栗原氏は子どものむし歯の治療から始まり、現在受けている歯周病のメンテナンスまで自分の患者としての人生を振り返りながら、「保険でよい歯科医療を受けられることが大切」と訴えました。

休憩時間には、川島診療所歯科の歯科医師・歯科衛生士の皆さんの指導で「口腔機能回復のための食前体操」を行いました。

フロア討論では、参加者から次々と手が上がり、歯科医療従事者から患者さんまで幅広い意見が出され、「格差社会」が健康の格差に繋がっていることや保険で良い歯科医療を求める運動の大切さについて、あらためて認識を深めることができました。

### (4) 出前講座

7月7日、江東区商工情報センターで、(株)加藤建設東京支店の平成21年度安全推進大会が行われ、矢野正明世話人が特別講演しました。これは、同支店より「保険でよい歯を」東京連絡会に出前講座の依頼があり、矢野世話人が講演することになったもの。協力会社を含む社員約90名が参加。矢野世話人は約一時間、「咬みしめてみませんか歯の健康」と題して特別講演しました。

矢野世話人は、建築関係の労働者が対象ということで「睡眠時無呼吸症候群」を話しの糸口にして、「咬むことの大切さ」「歯周病は万病の元」「歯がなくなったときに」「かかりつけ歯科医を持とう」の4つのテーマで講演し、咬み合わせと体のバランスとの関わり、歯周病と全身疾患、欠損を放置しないことの大切さ、格差社会と歯の健康、介護現場における口腔ケアなどを、パワーポイントを使って説明しました。

「保険でよい歯を」東京連絡会の出前講座は、いままで、老人会などが多かったのですが、今回、新しい分野に活動を広げることができたといえます。

10月14日には、ライフコミュニケーション橋学園で、森元主税世話人が「なぜ「口腔ケア」が必要なのか～意義・目的・手技～」と題して講演しました。このなかで、森元世話人は「おいしく食べることで人生をより豊かにすることにつながる」という視点で、嚥下

の仕組みと唾液の役割、誤嚥性肺炎の予防、口腔ケアの実際という基本的な事柄を中心に分かりやすく話しました。参加者は10数名と少なかったものの、参加した施設長をはじめとする職員の意識が大きく変わり、施設全体の介護の質を高めることに繋がっているとの報告が寄せられました。

また、11月22日、JR東労組東京地本の「秋の文化展」で、森元世話人が講演。主に食育を中心とし、噛むことの重要性、唾液の働き、バランスの良い食事、糖分の働きと過剰摂取の害について、具体例を挙げながら、パワーポイントを使って説明しました。時折、参加者に問いかけたり、クイズを出したりしながら、進めていったため、子供たちにも興味を持って聴いてもらうことができました。

#### (5) 歯科保険医療の充実を求める運動

今年秋の運動では、歯科保険医療の充実を求めて署名運動に取り組みました。当連絡会としては50,000筆の目標をかかげ、36,000筆以上の署名を集めることができました。これは目標を達成することはできませんでしたが、全国の署名数の15%を占めるもので私たちの確信になりました。11月18日までに集められた署名簿は11月19日の国会行動で国会議員を通じ国会へ提出され、それ以降に集められた署名簿は1月の通常国会に提出することになっています。

#### (6) 「“入れ歯が危ない” 保険で良い歯科医療を10・25決起集会」

10月25日、東京国際交流館で開かれた「10・25決起集会」（呼びかけ：全国保険医団体連合会・「保険で良い歯科医療を」全国連絡会・全日本民主医療機関連合会・日本生活協同組合連合会医療部会）に、全国から418人の参加があり、そのうち東京から100人近くが参加しました。このなかで、当連絡会の栗原寿子さんがリレートークに登壇し患者の立場から歯科医療の充実を訴えました。これに先立って、午前11時から有楽町マリオン前で宣伝署名行動が行われ、これには全国から230人が参加し署名は217筆集められました。東京からは歯科医師4名と事務局5名が参加し、署名は45筆集められました。

#### (7) 「イイハデー」宣伝行動

恒例の「イイハデー」宣伝行動を11月8日、浅草文化観光センター（工事中）前と同仮案内所前で行いました。東京連絡会加盟団体を中心に患者、歯科衛生士、歯科技工士、歯科医師、歯科関係者ら118人が街頭に立ち、「いつでも、どこでもだれもが安心してかかる『保険で良い歯科医療』を求める請願」署名は過去最高となる516筆に達しました。宣伝面では、チラシ入りティッシュ1750個、署名訴えチラシ約800枚、お口の健康相談チラシ650枚、風船200個、歯ブラシ500個を配り、歯の健康を守るこ

との大切さとともに、「健康保険のきく範囲をひろげてほしい」「窓口負担を引き下げてほしい」と観光に訪れた人に訴えました。

今年は、10月8日の「イレバデー」から11月8日の「イイハデー」までの1ヶ月間を歯科医療の充実を訴えるキャンペーン月間として全国的に取り組まれたことから、イイハデーを締めくくりに相応しい取り組みにしようとチンドン屋さんに太鼓・ラッパを鳴らしながら雷門周辺を、「今日は何の日か知っていますか？11月8日は『イイハデー』ですヨ～」と練り歩き宣伝したことが大きな特徴です。これは観光客や地元商店街の人達のなかで大きな反響を呼びました。また、例年使用してきた浅草文化観光センターが建替工事のために使用できませんでしたが、代替地を探すためにプロジェクトチームをつくって現地視察を行い、区議さんや台東区観光課長さんなどの協力を得て開催することができたことも特徴的でした。

## (8) 世話人会の開催とその役割の強化

前回の総会で世話人が補充されたことから、毎月の世話人会では以前よりも充実した論議ができるようになりました。大事なことは繰り返し論議を深め、各人の実情に応じて役割を分担し互いに協力し合いながら楽しく活動することができ、シンポジウムやイイハデーなどの取り組みを成功させる原動力になりました。

# ．社会保障をめぐる情勢の特徴

## (1) 鳩山新政権の誕生と深刻化する国民生活～医療・福祉・介護

今年8月の総選挙で、自公政権にたいする厳しい審判が下り、民主・社民・国民新による鳩山新政権が誕生したことは、この間の情勢を象徴する大きな政治的变化です。国民は自公政権がすすめてきた数々の規制改革によって「格差社会」といわれる様々な形のゆがみをただし、将来の生活が安心できるようにしてほしいと願っており、その国民の大きなエネルギーが政権交代をもたらしたものとえます。

しかし、鳩山新政権はこの国民の要求とエネルギーを真正面から受け止め、それに全面的に応える姿勢を明確にはしていないことも同時にしておく必要があります。高齢者がつよく望んでいる後期高齢者医療制度についてはマニフェストでの公約を破り、4年後に新制度を作ったあとに廃止すると述べ、姿勢を大きく後退させたことや無駄な予算を削ると言って「事業仕分け」を行ったものの国民生活に直結する予算でさえ、見直し・廃止などの対象とされたことなどです。医療崩壊・歯科医療崩壊を食い止めるために来年の診療報酬改定が重要になっていますが、この「事業仕分け」で、「収入が高い診療科の見直し」「開業医・勤務医の平準化」のために、診療報酬の配分を見直すべきなどとされ、財務省

は診療報酬の引き下げを求めており、今後いっそう警戒をつよめていく必要があります。一方、社会保障審議会医療部会は、充実が求められる領域として歯科医療をあげており、私たちの運動が審議会の論議に良い影響を与えているという側面も忘れてはならないと思います。

## (2) 歯科医療崩壊を食い止めるために

医療崩壊は歯科でも医科とは違った形ですすんでおり、早急な対策が求められていることは言を待たない。全国17の私立歯科大学、歯学部のうち11校で2009年の入試結果において、定員割れを起こしたことはその象徴的な事件でした。近い将来の歯科医療の担い手を十分育てることができなければ、将来に大きな禍根を残すことになることはあきらまらかです。その背景には、診療報酬の度重なるマイナス改定があり、その結果「歯医者さんの5人に1人が年収(年間所得)300万円」と週刊誌に書き立てられるほど歯科医師の収入が落ち込んでいることが大きいと思われます。

さらに、歯科衛生士養成機関でも定員割れや募集停止に至るところが出ていることも歯科の深刻さを物語っています。歯科医院経営が厳しくなっているため、歯科衛生士の待遇が他業種と比較して劣悪なまま改善されないことから若い人に敬遠されているのかもしれませんが、その結果、東京の半数近くの歯科医院で歯科衛生士を雇用できないでいる現状をこのまま見過ごすことはできません。

歯科技工士はそれ以上に深刻です。20代で歯科技工士免許を有する25,000人のうち、就業しているのは5,708人で、しかもその75%以上が歯科技工以外の職種に就業しているという実態が今年1月の日本歯科新聞で報道されました。

また、最近では海外で作製された歯科技工物が国内に入ってきているため、国内の歯科技工士の権利が著しく侵害され、技工物の安全性についても何ら担保されておらず国民の安心・安全の歯科医療が根本から脅かされるという状況があります。厚生労働省が無責任な態度を続けていることも大きな問題です。

いま求められているのは、効率化優先の医療政策を根本的に転換し、必要なところには思い切って予算を配分するという政府の決断です。私たちは引き続き、歯科医療予算の確保と増額を求めて運動をつよめていかなければなりません。

## (3) 東京の医療の状況

後期高齢者医療制度で、保険料を滞納して保険証を取り上げられ、有効期限を縮めた「短期保険証」を発行された高齢者は全国で2万8203人に上ることが厚生労働省の調査で明らかになりましたが、宮城・群馬・千葉・東京・神奈川・新潟・福岡の7都県は発行ゼロとなっています。

また、国民健康保険の資格証明書発行数は、08年度の28,753件にたいし、09年度は26,997件と1,756件の減少、同じく短期被保険者証の発行数は08年度の1

34,547件にたいし、09年度は96,668件と37,879件の減少となったことも加入世帯数が若干増えていることから見て、派遣村などこの間の運動の成果といえます。

子ども医療費助成制度が09年10月から実施されたこともこの間の運動の大きな成果です。ただ、23区ではすべて窓口負担がゼロであるのに、府中・武蔵野・日の出・檜原奥多摩を除く多摩地区の市町村では通院1回につき200円の負担が生じ「格差」は解消されていません。

一方、都が廃止を計画している八王子、清瀬、梅ヶ丘の都立3小児病院については存続を求める都民の請願・陳情3件を審議した都議会厚生委員会で、一部政党の反対多数によりこれが不採択になったことは大変残念です。小さな子どもを持つ家庭にとって、3小児病院が大きな安心を提供していたことは6万を超える署名にもよくあらわれています。このまま廃止されれば都の小児医療が大幅に後退することはあきらかであり、都はすみやかに廃止計画を撤回するよう求めるものです。

## ・2010年度の活動の方針

2010年は診療報酬点数の改定年です。健康保険でより良い歯科治療が受けられるよう取り組みをつよめます。保険証1枚でいつでも、どこでも、誰もが安心して歯科治療が受けられるよう求めていきます。そのために保険の給付範囲を広げる取り組みを重視します。「よい歯」連絡会の原点である、保険できちんとした入れ歯が入られるよう、入れ歯関連をはじめとした点数引き上げの運動も取り組みます。歯科衛生士や歯科技工士が安心して仕事に打ち込めるよう改善運動に取り組みます。また、実質的な混合診療であり、貧富の格差を医療に持ち込む「保険外併用療養費」制度の拡大に反対します。

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会や高齢者団体、市民団体との連携をはじめ、一人でも多くの都民、市民に運動を知ってもらい、参加してもらえよう宣伝につとめ、運動を推進します。

### (1) 歯科医療改善への要求

保険でより良い歯科医療が受けられるよう、引き続き国や自治体に向けて、次の要求をまとめ、早期実現をめざして運動を推進します。

健康保険のきく範囲を広げること。

高齢者を差別する後期高齢者医療制度を廃止すること。

国民により入れ歯を提供できるように、入れ歯製作の診療報酬を引き上げること。

歯科技工士の技術料を評価すること。

混合診療の拡大を行わないこと。

東京都全域で中学生までの医療費を完全無料化にすること。  
貧困問題や無保険の問題など医療の根幹に関わる問題を改善すること。

## (2) 2010年度の活動の計画

今年度の活動は、医療「改革」阻止する運動と、都民への啓発を重視して「出前講座」や「街頭宣伝」などに積極的な取り組みをすすめます。

保険でよい歯科医療の実現のため国会請願署名や自治体請願などに取り組みます。

歯科医療への理解を広める「出前講座」や街頭宣伝、シンポジウムなどへ積極的に取り組みます。

イイハデーの街頭宣伝や、学習会を開催し、都民へのアピール活動を積極的に行います。

「食」を通して「噛む」ことの必要性を運動に結びつけます。

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会との連携を強めて運動をすすめます。

運動を広げるため、世話人を増やすよう他団体や都民への呼びかけをすすめます。

ニュースを発行しホームページを充実させます。( <http://www.yoiha.org> )

以上